

# 立命館 言語文化研究

19巻2号

## 目次

### 特集

#### アルチュセール・マラソン・セッション

#### 再生産は長く続く？

##### 特集にあたって

—アルチュセール『再生産について』と散乱する不協和音— ……大野光明 (1)

#### セッション1 『再生産について』を今読むことの意味はどこにあるのか

##### 日本ファシズムをアルチュセールで読む

—道徳的主体の行方— ……林 淑 美 (11)

アルチュセール 素人の読み方 ……平井 玄 (27)

第一セッションにかんする覚え書き ……大中一彌 (37)

呼びかけと倫理 ……伊吹浩一 (41)

マラソン・セッションを振り返りながら ……山家 歩 (45)

##### 〈危機〉をめぐる政治

—〈合意〉への批判と沖縄の〈現在〉— ……萩原一哉 (49)

#### セッション2 『ニート』議論で語られないこと —なぜ、まだシンドイのか—

##### 『ニート』議論で語られないこと

—なぜ、まだ、シンドイのか— ……橋口昌治 (61)

高槻の在日学級と松本のニューカマー ……紀井早苗／能勢桂介 (67)

##### ひきこもり

—根拠なき順応と、交渉弱者— ……上山和樹 (83)

##### 「仕事（職務）」をめぐるこの30年

—個人的な回想をまじえて— ……山田 潤 (91)

##### 現代社会の再生産

—ニート・引きこもり・移民問題とアルチュセール再生産論の〈可能性〉— ……今野 晃 (103)

#### セッション3 継続する暴力・搾取への抗いに向けて

##### —社会構成体の〈周辺〉をめぐる呼びかけ—

##### 継続する暴力・搾取への抗いに向けて

—社会構成体の〈周辺〉をめぐる〈呼びかけ〉— ……大野光明 (117)

##### 門司港の朝鮮人港湾労働者

—主体になり損ね、暴力を記憶する— ……小野俊彦 (127)

##### 寄場

—流動的下層労働者の抵抗史— ……原口 剛 (137)

## 抵抗の領域における邂逅

—出会い損ねる主体の詩学から—……………阿部小涼 (149)

## 都市下層における反差別のかたち

—日雇労働のなかの「部落」と「在日」—……………山本崇記 (165)

## セッション4 統括セッション

アルチュセールのメッセージはいかに受け止められたか……………西川長夫 (183)

## 個別論文

### 喪失の痛みを抱いて、ブルーズへ

—ブラインド・ウィリー・ジョンソンとロバート・ジョンソン—……………ウエルズ恵子 (191)

Exploring code-switching through psycholinguistic experiments……………AZUMA Shoji (213)

### Denglisch の危険性

—ドイツ語の現状について—……………Gudrun GRAEWE (225)

### Migration and Identity Maintenance

—A case study of a family from Karaikal, South India—……………Marystella AMALDAS / A. MANI (239)

### Digital Preservation of Borobudur World Heritage and Cultural Treasures

……………Hary GUNARTO (263)

### An Empirical Study on Streaming in English Class

—With a Focus on the Relationship between Language Learning Anxiety and Achievement—

……………HOSAKA Yoshio (279)